

永祿四年正月

獻立

一、式三獻 十郎殿御馬の使、對馬殿御太刀の使、直御馬御太刀栗毛

一、初 獻 三宅影次郎殿御使、御太刀一腰供房

一、三 獻 長新次郎殿被參候、盃・香合

一、五 獻 同源次郎殿御使、三河守殿あいそへ、御具

足三物・御太刀一腰金ふくりん

一、七 獻 神保周防守殿御使、御腰物則益ニ直

一、九 獻 御大三之助殿御使、御繪一ふく盆筆馬遠

一、十一 獻 飯河若狹守殿御使、御打刀景光

一、十三 獻 平左衛門尉六郎殿御使、御長刀法成寺

一、十五 獻 御大三之助殿御使、御鞍貞宗作

一、廿一 獻

以上

同能与

熊木 せんざいふ若衆

せんばそ 此笛彦兵衛

弓八幡 熊木大夫 大鞍坊丸 小鞍藤七

實 盛 平内大夫 同大鞍大津田進助殿 太こ彌九郎 笛瀧波

松風村雨 同 小藤七 太鼓高木 笛瀧波

矢立加茂 日吉大夫 大鞍坊丸 小鞍藤七 笛瀧波

野々宮 平内 同大鞍深尾殿 小鞍藤七

八 嶋 日吉大夫 大鞍大津殿 小鞍藤七

照 君 平内 同大鞍三藏 同小鞍藤七

田 村 日吉三郎 同大鞍深尾殿 同小鞍藤七

せんばそ 此笛彦兵衛

弓八幡 熊木大夫 大鞍坊丸 小鞍藤七

實 盛 平内大夫 同大鞍大津田進助殿 太こ彌九郎 笛瀧波

松風村雨 同 小藤七 太鼓高木 笛瀧波

矢立加茂 日吉大夫 大鞍坊丸 小鞍藤七 笛瀧波

野々宮 平内 同大鞍深尾殿 小鞍藤七

八 嶋 日吉大夫 大鞍大津殿 小鞍藤七

照 君 平内 同大鞍三藏 同小鞍藤七

田 村 日吉三郎 同大鞍深尾殿 同小鞍藤七

浮舟 日吉大夫 同大鞍大津殿

鞍馬 熊木 同小鞍藤七

東岸居士 平内 同大鞍三藏

同小鞍彌一

同小鞍藤七

玉かつら 同 大鞍同

同小鞍藤七

老松出歸 熊木 大鞍同

小鞍同

以上

同狂言 釘原 ひよんの介 靱仮源三

御家之子

一番 宇留地孫四郎

二番 阿岸新次郎

三番 山田十郎兵衛

此木 上野 此兩人は座敷論を以不罷出候。

老等

一番 關 左近助

二番 中村小二郎

三番 加藤紀三郎

四番 田屋熊千代

五番 關 與三

(本文書中献立の條には、式三献より廿一献に至るまでの料理組を記せるも今之を略寫せり。)

二月四日。石川郡宮永の百姓、白山宮莊嚴講に、その免田の貢納を約す。

【白山比咩神社文書】 石川郡 一四一五

白山莊嚴講免、宮永竹内衛門分、在坪者從村北ニ御座候。御年貢一段壹石四斗處也。但此内二斗五升之處曳物可給候。相殘而壹石壹斗五升分、圖法ニ急度相立可申候。仍爲後日二筆如件。

永祿四年 二月四日 宮永竹内 彦左衛門 在判